

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | ドラッカーの言葉④

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

ドラッカーの言葉④

リーダーシップとは何か

効果的なリーダーシップの基礎とは、組織の使命を考え抜き、それを目に見える形で明確に定義し、確立することである。

リーダーとは、目標を定め、優先順位を決め、基準を定め、それを維持する者である。

リーダーを信頼するということ

信頼するということは、リーダーを好きになることではない。

常に同意できることでもない。

リーダーの言うことが真意であると確信をもてることである。

それは、真摯さという誠に古くさいものに対する確信である。

リーダーに求められるのは真摯さ

人のマネジメントにかかわる能力、たとえば議長役や面接の能力を学ぶことはできる。

管理体制、昇進制度、報奨制度を通じて人材開発に有効な方策を講ずることもできる。

だがそれだけでは十分ではない。

スキルの向上や仕事の理解では補うことのできない根本的な資質が必要である。

真摯さである。

部下の強みを生かす責任

部下の弱みに目を向けることは、間違っているばかりか無責任である。

上司たる者は、組織に対して、部下一人ひとりの強みを可能なかぎり生かす責任がある。

そしてそれ以上に、部下に対して、彼らの強みを最大限に生かす責任がある。

一度も間違わない人の欠点

優れた者ほど間違いは多い。

それだけ新しいことを試みるからである。

一度も間違いをしたことのない者、それも大きな間違いをしたことのない者をトップレベルの地位に就かせてはならない。

間違いをしたことのない者は凡庸である。

そのうえ、いかにして早く間違いを発見し、いかにしてそれを直すかを知らない。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ 📄 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.